

# 園芸メガ団地事業を導入し、複合経営の実現により水田単作地帯から脱却(秋田県秋田市雄和平沢地区)

法人化

機構  
の活用

基盤  
整備  
の活用

## 地域の概要

耕地面積105ha、農家数99戸、農家の平均年齢72歳、**耕地整理事業で整備された10a区画で用排兼用の土水路、暗渠未整備のため、水田単作地帯**であった。



## 取組の成果

- 担い手への集積率:[取組前(H23)] 18%⇒[取組後(H28.3)] 91%
- 既存のプランから「雄和平沢地区」として特出ししプラン作成
- 園芸メガ団地事業を導入し、複合経営の実現により水田単作地帯からの脱却

## 取組のポイント

### 基盤整備事業を契機に話し合いを充実(アンケート実施、座談会の開催)

圃場整備事業による大区画汎用水田の整備を図るため、**事業採択までアンケート調査や約50回の座談会を実施**するなど、話し合いを重ね、集落営農法人「(農)ひらさわファーム」を設立した。

### 「地域」特有の取組として、既存のプランからの特出し

**設立した法人に地区内の9割の農地を集積**し、基盤整備事業を契機に園芸メガ団地の取組をはじめとする複合経営など「地域」特有の取組となったため、特出してプランを作成した。

### 複合経営の実現により、水田単作地帯からの脱却

**園芸メガ団地育成事業を導入し、生産調整農地への露地野菜、花卉等の作付けによる複合経営の実現により、水田単作地帯からの脱却を図った。**その結果、複合経営により通年雇用の場と変化しつつあるが、習熟した労働力の確保が課題となっていることから、園芸メガ団地推進協議会(法人・県・市・JAで構成)による話し合いの他、研修や栽培技術指導等のバックアップを図っている。



園芸メガ団地